CRIMECA

有限会社クリメカ　〒２７８－００１３
千葉県野田市上三ヶ尾２５５－８９
電話０４－７１２５－３７３２
Ｆａｘ　７１２５－３８０９
e-mail: crimeca@abox23.so-net.ne.jp

2007/08/11

充電系チェック

１２Ｖ三相交流仕様　１９６９～　（米クライマー社マニュアルより引用）

発電・充電不良の際に下記手順に従い故障原因を特定する。

イグニッションスイッチ・オン時にチャージランプが点灯しない場合は
ローター（フィールドコイル）の断線が考えられる。

１．レギュレター・テスト
　レギュレターから３Ｐコネクターを外す。
　コネクター　Ｄ＋（ブルー）とＤＦ（ブラック）をジャンプ（結線）させる。
　1,000～1,200rpmでチャージランプが消灯すればレギュレター不良

２．ダイオードボード　Ｂ＋（向かって右サイド）を外す。
　ダイオードボード　Ｂ＋端子とローター・ブラシ端子Ｄ－（Ｄ＋）間の電圧測定
　　アイドリングで　　13.5～14.2Ｖ -------- 正常
　　13.0Ｖ以下-------- オルタネーター不良

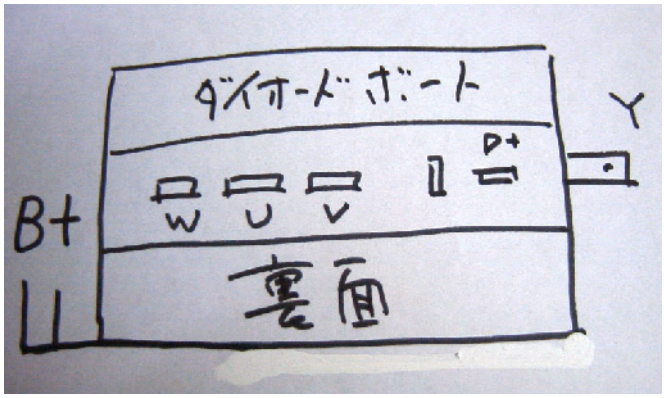
２´ダイオードボード裏面　Ｄ＋端子とアース（ボディー）間を測定
　　アイドリングで　　13.5～14.2Ｖ -------- 正常
　　1.5～4.0Ｖ-------- ダイオード不良
　　0.5Ｖ前後--------- レギュレター不良

CRIMECA

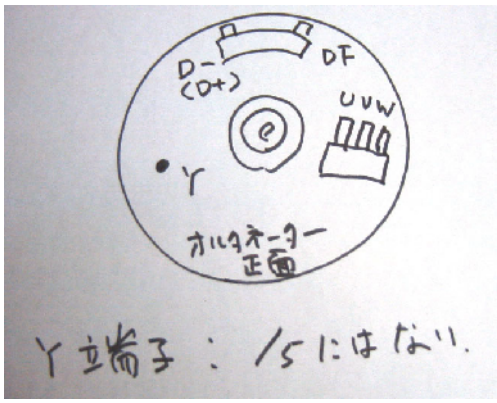
有限会社クリメカ　〒２７８－００１３
千葉県野田市上三ヶ尾２５５－８９
電話０４－７１２５－３７３２
Ｆａｘ　７１２５－３８０９
e-mail: crimeca@abox23.so-net.ne.jp

2007/08/11

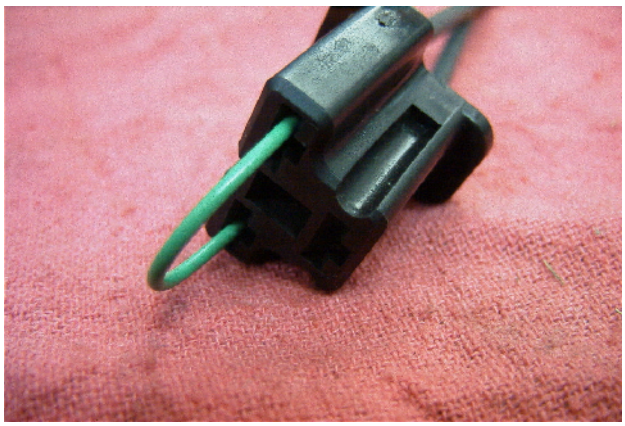
ダイオード裏面



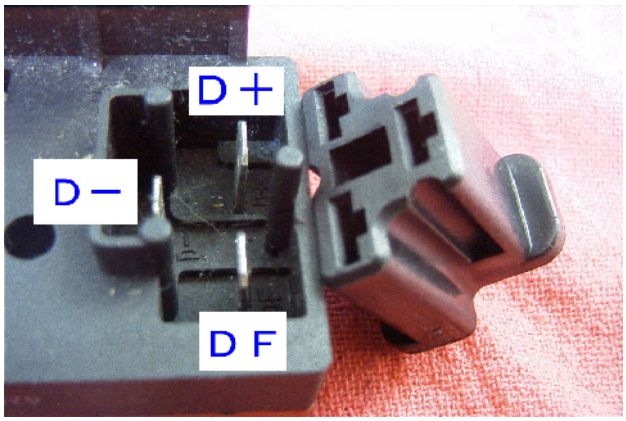
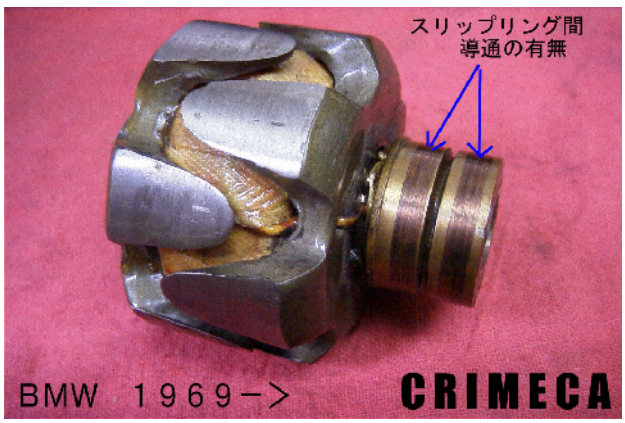
オルタネーター



ジャンプ例



レギュレター・コネクター



ローター（フィールドコイル）